



都道52号線(環境破壊)に反対する会ニュース

中原甫記 090-2940-4188
柱 道男 080-1217-3222
伊藤光壽 03-3427-0886
setagaya52go@gmail.com

2025年10月

都市計画道路整備方針の転換点——住民参加のあり方を問う

52号線優先整備路線、検証対象に——都と区に見直しを迫りましょう

都市計画道路 次期整備方針「中間まとめ」公表

東京都は7月29日、都市計画道路の次期整備方針に関する「中間まとめ」を公表し、都民からの意見・提案を8月29日までに都民からの意見・提案を募集しました。その結果を踏まえ、今月から具体的な検証作業に入る予定です。

今回の「中間まとめ」（詳細は都市整備局HP参照）で示された整備方針の最大の特徴は、都市計画道路を「2050年代の東京ビジョン」などの上位計画と連動させ、東京の将来像や都市再開発の推進に貢

献する位置づけとした点です。整備の目的としては、「都市の強靱化」「住民の安全確保」「インフラ整備」「歩行空間の創出」など、新たな役割が強調されています。

一方で、道路計画が住民の暮らしや地域のまちづくりに深く関わるにもかかわらず、「住民の参加と合意形成」という視点が「中間まとめ」には欠けていることに、都民から批判の声が上がっています。

検証対象に52号線優先整備区間も含まれることが判明

52号線の会は、「中間まとめ」に関して東京都都市整備局および区道路計画課とのヒアリングを行いました。その結果、以下の点が明らかになりました（詳細な議事録は後日紹介）。

- 今回の整備方針策定にあたり、現在未着手の路線はすべて検証対象となる
- 第4次で優先整備路線に選定されたが事業認可されていない路線も含まれる
- したがって、52号線の優先整備路線区間も今回の検証対象に含まれる

- 東京都全域に関わる項目は東京都が統一的に検証し、地域に関わる項目は区市町村が検証する
 - 都・区の施行に関わらず、それぞれが独自に検証を行う
 - 優先整備路線の選定項目と共に事業の継続性や関連事業の状況、実現性等から総合的に判断される
- これらの点から、この間の運動により52号線の優先路線を再検証の俎上に載せたことは重要ですが、見直しの実現にはさらなる働きかけと住民の声・世論を強める事が必要となります。

10月から検証開始 年内に方針固める予定、署名活動の強化を

東京都は、今後の検討会日程（都HP）を公表しました。10月上旬から路線ごとの検証作業が始まると考えられます。次期整備方針は2025年度末（2026年3月）に策定予定であり、逆算すると12月上旬までに方針案を固める必要があります。その後、パブリックコメント等の手続きを経て正式策定に至る見

込みです。この重要な局面に向けて、「52号線の優先整備路線選定の見直しを求める要請書」の署名活動を強化し、東京都への働きかけを強めることが求められています。



8月3日学習会38名参加（左の写真）

玉川大学の小山雄一郎教授を講師に招き開催した「都市計画道路のあり方を考える」学

習会は、住民運動の確信を深める機会になりました。

講義レジュメ及び講義録要旨を希望される方にお届けいたします。

第2次署名提出

10月28日（火）午前10時30分～11時

場所：都庁第二庁舎1階 会議室

対応：都政策企画局 総務部 知事秘書担当課長ほか